



2010～2011

沼田ロータリークラブ会報

地域を育み、大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITY BRIDGING CONTINENTS

2010～2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 松野正一 幹事 津久井功 会報編集 綿貫利彦
例会場及事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

第2610回 例会報告

2010年8月17日

記録 綿貫利彦

例会予告

8/24	家族納涼会 於 田園プラザ
8/31	未 定

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2010年8月24日発行 No.7

新会員卓話

家族旅行について

小 林 正 典 会 員



■卓話者紹介

梁瀬仁一君

本日は、新会員の卓話で小林・千明両会員を予定していましたが、都合により小林君だけになりました。

小林会員は、利根町でコバコーを営んでおり、エネルギーある方ですので、今後のロータリー活動に期待しています。

■卓 話

卓話をするように言われ、緊張しており話しの内容がまとまりません。

夏なので家族サービスについてお話しいたします。仕事柄年中無休のような状況でいますので、お盆の時は休んで家族サービスをいたしています。この時期は行楽・帰省で混んでいます。この時期は行楽・帰省で混んでいます。ホテルや旅館を予約して家族で旅行に行っていました。混んでいたりで次の目的地に行くのに半日掛かる事もあり、移動に時間を取られ、旅の気分を味わえない事も多々あり、何をしに来たのか分からない感じもありました。

ある年、休みの日程が組めないままお盆休みに入り、車でとにかく出発して泊まれる所で泊まり、泊まれなければ車中でと割り切り行ってみました。道の駅や日帰り温泉、食事好きなものを自由に、1回行って見ましたら、子供達の思い出に強く残り、翌年は、キャンピングカーで行く事にしたら、車が大きくて止められる所が少なく、次の年はマイクロバスを改造して行きました。中古車なので故障が多く、半日修理にかかったり思い出作りには役立っています。旅行中子供達は、ゲーム禁止、車中テレビも無しで、風景と会話を楽しむようにしています。これは、単に金をかけて場所を旅するのでなく、家族の共有する時間を楽しむ事になり、きずなが深まると思います。また、家族だけでなく、行く先々で人と出会い知り合い、次の時同じ方と出会う事もあり、人は一人でない、家族だけでもない、大きなものを子供と共に感じられる旅を行えるようになりました。

今の時代はデジタル中心ですが、この旅はアナログを楽しむ貴重な時間となり、子供の成長とともに変化するかもしれませんが、続けてまいりたいと思っています。

例 会 報 告

■司 会 塩沢岳夫 S A A 出席委員

■ソング 四つのテスト 宮内明彦君

会長の時間 松野正一 会長

暑さがぶり返してきましたのでお気を付け下さい。

最近のニュースで、スペインのカターニャ地方で闘牛の禁止が条例化され12年より施行されるというのがありました。7つ以上の

民族があるスペインでは、マドリッドを中心としたカスプレー王国の人をスペイン人と呼ぶそうで、カタール地方はバルセロナを中心とした所で民族も違い、動物愛護団体を中心に運動が起こり決まったそうです。

ロータリーリーダーシッププランが2770地区（埼玉南部）の越谷で行われ、私と横山パスト、水石エレクトの3名で出席してきました。出席者は、入会2～3年の方からベテランまで150名位でした。井橋ガバナーの挨拶の後、50分のディスカッションを6項目あり5時間を超える濃い内容でした。今回はパートⅢまであり、全部受けると大きな知識が得られます。クラブリーダーシッププランは、クラブを活性化させる事でしたが、これは、人を育てリーダーとしてロータリーを発展させるものです。いずれ当地区でも採用されると思います。

幹事報告

宮内明彦副幹事

◎当クラブ例会変更

8月24日18時30分納涼家族会、田園プラザ

◎他団体活動助成及び寄付について

ロータリーは寄付団体でないので、他団体よりの活動助成等に関しては、支援を行わない。

委員会報告

◎SAA出席委員会

笹川正之委員

会 員 数	会場出席	メーク	出席率
56名	35名	—	63.63%

◎ニコニコ委員会

今井幸吉委員長

・松野正一君 16日菩提寺の了源寺で恒例の送り盆行事が行われ、いつもながら厳かな気持ちになりました。

・津久井功君 申し訳ありませんが、遅れ。

・前田善成君 12日「ひめゆり」上映に際し大変ご協力いただきスタッフ一同より感謝。お陰様で500名強の集客ができました。

・ニコニコ週間 新会員卓話を楽しみに

今井幸吉君	荒井静雄君	宮澤孝幸君
塩沢岳夫君	木下進君	西田治司君
水石清治君	綿貫利彦君	宮内明彦君
小野里雅広君	峯川卓美君	桑原裕君
関真一君	桑原敏彦君	金子吉志君
保坂充勇君	春日政志君	角田隆君

◎財団BOX IN

桑原伸一郎委員

西田治司君	角田隆君	松野正一君
津久井功君	宮澤孝幸君	水石清治君
阿形登氏君	木下進君	桑原裕君
前田善成君	今井幸吉君	

◎会員増強親睦活動委員会 桑原敏彦委員長

24日の出欠案内に家族出席者の欄を入れませんでした。申し訳ございませんが、同席家族の出席をお願いし、お名前を送って下さい。楽しい企画を用意しています。

ロータリー・リーダーシップ研究会の概要

ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)は、ロータリー・クラブの指導者開発計画を実施するための、ロータリーの地区と地域の基本的な連合組織です。RLIは高い教育的な経験を備えた将来のクラブ指導者を要請する目的で、その可能性のある特定のロータリアンを支援するために、ニュージャージー州の中央にある7510地区で、デヴィッド・リネット地区ガバナーによって1992年に設立されました。

1994年には、ニュージャージー州で更に3つの地区が加わって多地区の活動となり、1998年には、31ゾーン、32ゾーン(アメリカの北東部、中部大西洋岸、カナダの一部)に広がり始めました。

RLIが2つのゾーンに広まったことで、このプログラムは国際ロータリーの役員の関心を惹きました。プログラムは、2001年の国際協議会のスピーチの中で取り上げられ、「指導力成功談」としてRIウェブ・サイトに掲示されるとともに、RIニュース・バスケットの2002年3月20日号の記事にもなりました。RI理事会は、クラブや地区がRLIおよびこれに類似したプログラムに参加することを推奨するという決議を採択しました。2001年9月に、RLI常任委員会はロータリーの世界全体に、ある程度の自治権を持った支部を作るという拡大計画を採択しました。常任委員会は、31ゾーン、32ゾーンの外部に拡大する必要性を認める一方で、支部を成功させるためには、RLIからの支援が必要であることを認めました。すでに結成された支部の名前はRLIのウェブ・サイト <http://www.rotaryleadershipinstitute.org> に掲載されています。